

令和7年度第3回 蓮田市総合振興計画審議会会議録

招集日	令和8年1月20日(火)	
開催場所	蓮田市役所 201会議室	
開催日時	開会 令和8年1月20日(火) 午前 10時00分 閉会 令和8年1月20日(火) 正午	
出席状況 (委員)	会 長 中 山 和 久	出席 ・ 欠席
	副 会 長 奥 沢 信 男	出席 ・ 欠席
	委 員 石 井 文 枝	出席 ・ 欠席
	委 員 光 野 春 生	出席 ・ 欠席
	委 員 武 藤 康 史	出席 ・ 欠席
	委 員 加 藤 智 子	出席 ・ 欠席
	委 員 田 口 桐 子	出席 ・ 欠席
	委 員 寺 澤 亜希子	出席 ・ 欠席
	委 員 馬 場 干 児	出席 ・ 欠席
	委 員 松 澤 行 男	出席 ・ 欠席
出席職員 (策定委員、事務局)	<p>【蓮田市総合振興計画策定委員】</p> <p>蓮 田 市 長 山 口 京 子 副 市 長 加 藤 繁 総 合 政 策 部 長 金 子 克 明 総 務 部 長 高 橋 司 環 境 経 済 部 長 初 野 尚 久 健 康 福 祉 部 長 森 上 和 代 都 市 整 備 部 長 高 橋 宏 治 上 下 水 道 部 長 中 田 俊 之 会 計 管 理 者 柴 田 賢 次 消 防 長 小 野 寺 潤</p>	<p>学 校 教 育 部 長 安 田 修 一 生 涯 学 習 部 長 清 野 哲 議 会 事 務 局 長 遠 藤 忠 則 都 市 整 備 部 参 事 兼 道 路 課 長 門 井 政 治</p> <p>【事務局】</p> <p>政 策 調 整 課 長 細 沼 誠 政 策 調 整 課 副 主 幹 木 村 幸 歩 政 策 調 整 課 主 事 西 谷 美 香 政 策 調 整 課 主 事 大 熊 一 輝</p>
傍聴者	1名	
1 開会	開会宣言	
・ 会長挨拶	《中山会長より挨拶》	
・ 市長挨拶	《山口市長より挨拶》	

2 議題

続きまして、次第の2「議題」でございます。

蓮田市総合振興計画審議会条例第5条第2項に基づきまして、これからの議事進行を中山会長にお願いしたいと存じます。中山会長、よろしく申し上げます。

・定足数の
確認

(委員10名全員出席のため、会議の成立)

・傍聴者の
確認

《議長より傍聴者の確認》

(条例に基づき原則公開で異議なし。傍聴者1名)

(1)蓮田市
基礎調査の
報告につい
て

(議長)

初めに、議題(1)「蓮田市基礎調査の報告について」を審議いたします。

事務局から説明をお願いいたします。

《事務局から資料2について説明》

(奥沢副会長)

まず蓮田市は高齢者人口が非常に多く、死亡人口も非常に多いです。その上、少子高齢化であり、生まれる子どもが少ないことから当然自然減が多くなります。大事なのは自然増減よりも社会増減がどうなるかであって、いかにして転入人口を増やしていくかということです。

一点目の質問ですが、合計特殊出生率が高いというのは蓮田市の女性は一生の間に産む子どもの数が多いということなのですか。15ページ下のグラフでは20代後半の女性の人数は大きく減っており、これは団塊ジュニア世代が30代前半や20代後半あたりで転出しているということだと思います。蓮田で生まれ育って市外に出た人たちに、できればまた戻ってきてもらいたいと考えており、そのための政策を講じていくことが大事だと思います。例えば、蓮田駅東口に15階建てのマンションができたので、このようなところにも、蓮田で生まれ育った人たちが戻って来やすいように、優先分譲のような形で、インセンティブのある政策をとってはどうか。いずれにしても転出された方を呼び戻すような政策が必要だろうと思います。

二点目は、転入転出者について、どのような方が入って来たか、あるいは出て行ったのかという分析があったら、説明していただきたいです。

三点目は、17ページの農業産出額のグラフから、米麦類は比較的頑張っていますが、大幅に農業産出額が減っているのがわかります。特に果実の大部分は梨が占めているかと思っています。梨は蓮田を特徴づける特産物ですが、減少している理由とこれからの対策について、現段階で何

かありましたら教えてほしいです。梨については、非常に危機意識を持って対応する必要があると思っています。

(事務局)

合計特殊出生率に関しては、蓮田市は国よりも若干高い状態であることが統計で出ています。

そして転入転出人口は、女性の25歳から30歳の人口は減っていますが、逆に25歳から30歳の男性は増えているといえます。どういう方が転入しているか、地区までは調べられませんでした。日本人と外国人の両方で、25歳から30歳の男性が増えている状況です。

(環境経済部長)

農業産出額減少の理由といたしましては、農家の方の高齢化と後継者不足が主なものになっております。特に梨の産出量減少についてですが、高齢化と後継者不足に加えて、梨が老木になり切ってしまうというようなケースもあります。これにつきましては、いくつかの補助という形で支援をしております。梨で言いますと、降ひょう被害を受けないようにするためのネットの補助、研修費の補助、剪定や農業廃棄物の処分費用、薬剤の補助を支援しています。また、新規に農業を始める方への支援も行っています。なかなか効果が現れにくいですが、引き続き支援に注力し、農家との対話も続けて対策をしていく必要があると考えています。

(田口委員)

全国的に農家は高齢化し後継者不足のため、全国と比べた際の減り具合はどうか気になります。コロナ以降、農業関連のイベントをしていた方が高齢化により引き継ぎのないまま引退してしまい、その後イベントを復活させようと思ってもできなかった事例が見受けられます。新規就農支援についても、農商工連携推進協議会として色々取り組んでいますが、若い人や農業をやりたい人が減っている状況で、市の努力だけでは難しいと思います。一方で、農業者は環境整備の役割も担っていて、農業者が減ると田んぼが荒れゴミが溜まってしまいます。環境整備をどうしていくのが課題になると思います。

(環境経済部長)

全国的に減っているという情報はございますが、蓮田がその中でもどの程度の減り具合なのかということは、今は資料がなくてお答えできませんので、後ほど確認したいと思います。

(奥沢副会長)

首都圏近郊の野菜・果物類に関する産業振興について、野菜を作るだ

けではなくて、さらに加工して販売する、いわゆる6次産業という形で工夫しながら取り組んでいるという話は伺っています。梨に関しても6次産業化される可能性はあるのでしょうか。

(環境経済部長)

数年前から6次産業化に取り組んでいますが、コロナ禍ということもあり、なかなか進んでいないのが現状です。梨のコンポートを考案し販売することや味噌の開発も行っており、少しずつ進めているところです。

(議長)

農地が産業廃棄物置き場になってしまっていることに関してはどうですか。

(環境経済部長)

遊休農地が残土の置き場になってしまっている場所が何箇所か見受けられます。近隣住民から不安の声も届いていて、市も対応しているところです。盛土規制法(宅地造成及び特定盛土等規制法)の許容範囲内ですが、住民からの苦情があれば、市の職員が出向いて事業者と話し、規定に合致していなければ指導しています。遊休農地を買い取って業者が何かをするケースも見受けられます。農業後継者が減っていることが直接の原因で、なかなか対応が取れないのが現状であり、遊休農地に関してはその都度の対応になってしまっていますが、指導を含めて対応していきたいと思えます。

(議長)

国としての問題も大きいかと思いますが、市としても検討をお願いしたいです。

(奥沢会長)

先ほどの話に関連して、今までは農家の方が多く、農地も整備されていましたが、人数の減少に伴い、できなくなっています。農家だけでなく、地域住民が行うことへの支援制度が埼玉県にあると伺いました。市民団体に組織をつくってゴミ清掃などの環境維持の活動を行うことで、一定の補助金が出ていると聞いたことがあります。このように農家に代わって地域住民が一定の清掃活動に従事しながら、地域の自治活動に参加することも検討していただきたいです。

(環境経済部長)

不法投棄もしくは清掃活動について、蓮田市では自治会単位で行って

おります。毎月自治会や有志でクリーン作戦を行い、集めた廃棄物を市が回収して処分しております。年に一度、大規模にクリーン作戦を行っています。また市の職員も見回りをして大型のごみへの対応を行っており、一年を通して不法投棄に対応しています。

(2) 蓮田市
市民調査及
び小中学生
アンケート
結果の報告
について

(議長)

続きまして、「蓮田市市民調査及び小中学生アンケート結果の報告について」を審議したいと思います。

事務局から説明をお願いいたします。

《事務局から資料3について説明》

(議長)

ただいま事務局から蓮田市市民調査及び小中学生アンケートの報告について説明がありました。

ご質問・ご意見等がございましたら発言をお願いいたします。

(寺澤委員)

全体的に産業が少ないと思っている市民がほとんどであると思います。産業団地の整備の状況について教えていただきたいです。

(都市整備部長)

高虫整備地区産業団地の整備について、現在大きく2つの作業を進めています。1つは、北側では埋蔵文化財調査をし、南側では産業団地の造成を進めています。2つ目の企業誘致については、代行事業者が進めており、南側から候補企業が挙がる見込みです。産業団地誘致事業は土地活用事業として進めており、令和11年頃まで事業を進めつつ、造成して売れるところに企業誘致を並行して進めていく予定です。現状はまだ土を入れている段階のため、建物の状況確認はできておりませんが、順次新しい情報を報告していきたいと思います。

(寺澤委員)

アンケート結果から、人々はコミュニティの場や人とのつながりを求めていることがわかります。工業団地の整備を進めていく際に、小学生のアンケートにもあるように、集まれる場所の整備も視野に入れて進めてほしいです。

(武藤委員)

アンケートの回収率に年代別の違いはあるのでしょうか。前回調査よりも若い世代の回答が増えていけば、読み取り方も変わるかと思います。

回答者の構成が若者に寄っているということを前提に読み解いた場合、前回の調査結果から多少の変化があったとしても、市民全体の考えが変わったわけではないということになります。年代別の回収率に変化があるのかについて教えていただきたいです。

(事務局)

前回の調査までは無作為抽出で年代を考慮せずに実施していましたが、その場合は人口構成によって回答者に偏りが出る恐れがあることから、今回は抽出段階で人口構成を区切り、年代によって配布数を決めて配布しました。その結果、ほぼ人口構成と同様の回収結果になっています。この点が前回より変わっているところです。

(光野委員)

人口のことを考えると、社会増を目指していかなくてはならないと思います。かつアンケート結果から近隣とのつながりが希薄化しているとわかります。本来ならば職場と住むところが近接しているのがコミュニティとしても産業の振興としても良いと思います。高虫産業団地に限らず、就労する場所を増やそうとすると、倉庫はあまり雇用を生まないため、製造業を誘致できる体制を整えることがよいと思います。製造業を誘致する政策はあるのでしょうか。

(都市整備部長)

高虫西部地区については、用途地域は工業地域としているので、基本的には製造業も流通業も呼べると思います。住工混在はよくないので、地区計画制度を活用し、地区内に新たな人口流入は見込んでいません。製造業の誘致については、代行事業者が企業誘致も含めて請け負っており、毎月どのような産業団地をつくっていくか課題出しと合わせて協議しています。

(総合政策部長)

蓮田を拠点に住んで働くということについて、衣食住、職住遊学をなるべく移動せずに1か所で、ということも各自治体の政策として言われておりますが、これだけグローバル化した中では、製造業を誘致するしないに拘わらず、市外からも人は来ますし、市民も仕事の都合等で外に出ることもあります。次期計画では、今の時代の流れに沿ってどのようなまちがよいのか、人口推移も踏まえて包括的に考えていきたいと思えます。

(議長)

アフォーダブル住宅など、勤めている人を優遇する取組もあるようで

すので、ご検討いただければと思います。

(石井委員)

資料でワードクラウド分析がわかりやすくイメージできてよいと思いました。子どもたちに「とかいなか」が浸透していることや、蓮田が好きと言っていることは安心しました。自然が豊かで災害が少ないというところを理解していて、これからも住みやすいまちであってほしいという希望がわかってよかったです。

(馬場委員)

防災に関するアンケート調査の中で「どちらかといえば危険だと思う」理由について、57ページの「避難場所になっている学校が安全と思えない」という点が気になりました。市民は不安に感じているようです。

58ページの災害への備えで必要なことについて、「避難所施設の整備・充実」が上位ですので、このような点が第6次の計画を策定するにあたって重要で、計画的に行うことが求められていると思います。

(総合政策部長)

アンケート調査から、おそらく洪水ハザードマップの浸水想定区域の中にある避難所が安全と思えないということが読み取れます。地震と洪水で対応が変わるので、丁寧に説明していきたいと思います。また、老朽化と衛生面については計画的に対応したいと考えております。

「避難施設の整備・充実」については、近年災害が頻発し、市民の方々が目にする分野ですので、新たな計画の中でも位置づけをしていきたいと思います。

(3) 蓮田市
総合振興計
画市民会議
の結果につ
いて

続きまして、議題(3)「蓮田市総合振興計画市民会議の結果について」を審議いたします。

《事務局から資料4について説明》

(議長)

ただいま事務局から「蓮田市総合振興計画市民会議の結果」について説明がありました。ご質問・ご意見がございましたら発言をお願いいたします。

(寺澤委員)

蓮田は高齢化率が高いため、免許を返納すると足がなくなってしまう。市の末端に住んでいると、バスの本数が少ないのが心配です。現状、主要道路以外の細かいところを網羅するバスはないです。以前も質

問にありましたが、計画にはないということだったかと思います。今後の再検討の余地はあるのでしょうか。

(都市整備部長)

蓮田市では昨年度「蓮田市地域公共交通体系調査」を行い、現状把握と将来の施策についてまとめました。比較的市内の南北方向では一定の路線があり、人口減やモータリゼーションによりバス利用が伸びない中で、民営事業者と協力しつつ、支援を行っています。今後、時代の変化とともに、新たな支援制度が必要になることも視野に入れながら、民間事業者と協力し、必要な支援をしていきたいと考えています。

(松澤委員)

もう少し制度を練らなくてはならないと思います。高齢者の方から、免許を返納したいがバスが走っておらず、返納できないという話を伺うと、対策が必要であると思われれます。業者に丸投げしても、すぐに止めてしまうこともあります。交通弱者の立場に立って、小さなバスでも確保できないのでしょうか。

(議長)

医療機関で巡回バスを出しているところもありますが、蓮田市内はどうなののでしょうか。

(健康福祉部長)

蓮田市でもいくつかそういったバスがあります。高齢者や透析患者のために病院への巡回バスを医療機関が運行しています。

(議長)

大手の病院なら循環バスはできますが、小さな病院は難しいので何か知恵が出ればよいと思います。

(加藤委員)

最後のまとめの部分で、産業振興に関わる部分が入っていません。市民からのアンケート調査でも優先度の評価点が高く満足度は低いです。産業振興の要素として施設や集まる場という意見が出ていると表記すべきなのではないのでしょうか。

(環境経済部長)

産業振興に関してはアンケートでショッピングモールの建設が求められていました。蓮田市としては中心市街地を盛り上げようとしています。ショッピングモールを中心部に誘致するのは難しく、現在は既存の商店

や産業のにぎわいづくりを優先しています。

(加藤委員)

産業振興の視点を持ってほしいと思っています。駅前の商店やサービスエリアの問題もあるので、全体として解決策を検討してほしいです。

(田口委員)

中学校の部活動が基幹校で行われるようになり、人数が多い部活は各学校にあるわけではなく、自分の学校ではなく部活動がある学校に行ってしまうことになりました。少し前は子どもたちが市内循環バスで移動できるようにするという話がありましたが、なくなったようです。通学に自転車の使用が許可されないため、基幹校以外で親の送迎がない子どもは、平日の部活動に通えないことになります。子どもたちの健全な育成として部活動は重要で、そのためにも巡回バスが必要なのではないかと考えています。検討し得るのならばお願いしたいです。

(学校教育部長)

国の方針では部活動は教育課程外の活動となっています。少子化もあり、学校教育課程外の活動は学校で支えるのではなく、地域展開していく流れになっています。クラブを立ち上げることや既存の活動の場で中学生を受け入れることで地域展開を図っております。

休日の部活動については、地域に積極的に展開していく方向で動いています。山間地でバスを出す場合もあるようですが、蓮田市では部活動に伴ったバスの拡充は考えておりません。現時点では自分の学校ではなく、隣の学校の活動に参加できる形になっています。受け入れ先の中学校は、自転車の安全面について保護者と連絡を取りながら実施しており、他の中学生と関われる点で利点があると考えられます。

(田口委員)

先生の働き方改革や成り手不足などの事情は理解できます。しかし部活動のために学校に行っている子どもや、家に居場所がなくて部活に来ているという子どももいます。そのような点から部活動は実は大切であると考えています。大人と子ども、それぞれの状況に応じて対応していくことが必要だと思います。

(議長)

今後、部活動の形は行政で検討しなければならないというところで、これから整備いただければと思います。

(学校教育部長)

国では令和13年度までに土・日曜日の部活動の地域展開を進めていくこととしています。平日放課後の部活動に関する期限はなく、しばらく継続されるでしょう。地域によっては平日、休日共にクラブ化が進んでいます。子どもの居場所が急になくなることは避けたいと思っています。

全体的に部活動は縮小傾向であり、地域でのクラブが子どもの興味関心に応じ広く選択肢を展開していけるよう、働きかけたいと考えています。国も「一つの種目に集中するのではなく、多様な選択肢が生まれるように」と謳っているため、部活動の地域展開に取り組みたいと思っています。

(議長)

部活という枠組みではなく、居場所や生きがいという枠組みで考える必要が出てきたと思います。

(4) 蓮田市
第6次総合
振興計画序
論のたたき
台について

(議長)

続きまして、議題(4)「蓮田市第6次総合振興計画序論のたたき台について」を審議したいと思います。事務局からご説明お願いいたします。

《事務局より資料5の説明》

(加藤委員)

駅前に住んでいる住民として商店街を復活させてほしいと思っています。ショッピングモールのような大きな建物は道が狭くて建てることができず、東武ストアのような施設であっても、解体し、新しいものを建てるまで買い物難民が出てしまいます。年配の方も買い物がしやすい商店街をつくってほしいです。シャッター商店街になってしまっているものを市で買い取り、小ぢんまりとした買い物ができる場所をつくってほしいです。車が運転できない高齢者に向けて、病院帰りに買い物ができるスペースをつくり、地場産の野菜を売れば農業の活性化につながると思います。また商店街の一部に小規模な製造業者が入ることで、蓮田市全体で活性化ができると考えています。このような事業に市の補助金を充ててほしいです。

(環境経済部長)

商工業の振興は関心が高く、検討しなければならないと認識しています。また、中心市街地の活性化として、空き店舗について対応しなくてはならないと考えています。市がどこまで対応すべきかということも考え

る必要があり、商工会議所とも連携、調整したいと思います。地元の商工業者が活性化すれば蓮田市も活性化すると考えています。

(馬場委員)

2ページの大規模災害への備えに関連して、南海トラフ地震臨時情報が出され、大災害への危険度が次の10年にはさらに高まっています。東京都では火山灰のハザードマップの作成を試みています。そのため、4ページの①の柔軟性の高い計画づくりの部分に、変化する社会情勢に加えて、自然環境の変化や災害の危険度の高まりなどにつき、入れてほしいです。また、5ページ(2)安全・安心な暮らしへの意識の高まりの部分に、自然災害が相次いでおり、災害危険度が高まっていることについて入れていただきたいです。

(議長)

地球温暖化も含めて対策を考えなくてはならないと思います。

(総合政策部長)

記述の仕方は検討させていただきますが、災害対策について熟考の上、明記したいと思います。

(馬場委員)

災害時に避難所となる体育館の耐震化が重要であり、災害への備えが必要であると考えています。

(議長)

避難所の耐震化はどれくらい進んでいるのでしょうか。

(総合政策部長)

手元に資料がないため、はっきりとしたことは申し上げることができませんが、基本は体育館が避難所となり、災害の規模に応じて校舎も避難所として活用できると考えています。校舎に関しては耐震化がほぼ進んでいます。

(武藤委員)

基本計画の目標と実施計画の主要事業との分け方やつながりを見たいと思います。DXの浸透という時代背景に留意していただきたいです。市民意識調査結果では、若い世代ほどDXの推進の割合が高いので、年齢が上の人への意識浸透を図り、DXが子育てのしやすさや行政サービスの向上につながるものであることを敷衍する^{ふえん}ような取り組みをしてほしいです。また、各個人のウェルビーイングを実現することはゴ

ールであって、関連するものと並列になっているので、書きぶりを工夫できるのであるならお願いしたいです。DXは人間の幸せの在り方に繋がっていくということを伝えることができればよいと思います。さらに、今の「WHOが提唱したウェルビーイング」という書き方ではなく、かつてのウェルビーイングに肉付けし今のウェルビーイングになっていて、それを目指しているという形で書けるとよいのではないかと思います。

(中山会長)

AIを活用した市政のレスポンスも考えているのでしょうか。

(総合政策部長)

蓮田市ではGoogle検索を使ってどこに知りたい情報があるかわかるようになっていますが、他の自治体のホームページを見るとAIを導入しているものも見受けられます。時期は明言できませんが、AIの導入を検討していきたいと思います。

(奥澤副会長)

蓮田市は製造業が少なく流通関連の企業が多いと認識しています。蓮田市の産業の構造をもう少しわかりやすくするため、近隣市と比較した産業構造がわかるようにしてはどうでしょうか。税収を得るために製造業の方を重視してきましたが、流通業による税収はどのようなのですか。蓮田市の産業構造の実態がわかるような資料にしてほしいのと、蓮田市の税収についてお聞きしたいです。また、近隣の市と比べて蓮田市には流通業が多いのでしょうか。

(総務部長)

税収については、流通業でも製造業でも固定資産税の収入があります。産業構造別に分類している細かい資料は手元にありませんが、流通業でも償却資産による固定資産税が市の税収増につながります。当市に流通業が多いのかについてですが、他の自治体との比較は行っておりません。

(奥澤副会長)

流通業でも税収に貢献しているとわかりました。

(総合政策部長)

製造業の中で、蓮田市の高虫地区を除いて工業専用地域と準工業地域が約79ヘクタールあり、そのほとんどが蓮田のサービスエリアまで続いています。製造業もそれなりにあると思うため、次回会議の資料で数値として示せるようにしたいと思います。

<p>4 その他</p>	<p>(議長) 本日は大変活発な意見交換をいただきまして、ありがとうございます。ただいまの件を確認するようお願いしたいと思います。</p> <p>以上で、本日の審議会を終了させていただきます。議事進行を事務局にお返しします。</p> <p>(政策調整課副主幹) 中山会長、ありがとうございました。 続きまして次第の4「その他」に移ります。事務局から連絡がございます。政策調整課長より申し上げます。</p> <p>《事務局より連絡事項》 会議録はホームページに公開となっておりますのでよろしくお願ひします。 次回の会議予定は3月26日(木)午後1時半を予定しております。</p>
<p>5 閉会</p>	<p>(政策調整課副主幹) 続きまして、次第の5「閉会」でございます。 奥沢副会長に、閉会のごあいさつを頂きたいと存じます。</p> <p>《奥沢副会長より閉会のあいさつ》</p> <p>(政策調整課副主幹) ありがとうございました。以上で令和7年度第3回蓮田市総合振興計画審議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>